

令和 8 年 度

教育行政執行方針

更別村教育委員会

教育行政執行方針

令和8年第1回更別村議会定例会の開会にあたり、令和8年度教育行政の執行に関する基本的な方針について申し上げます。

少子高齢化や人口減少、急速なデジタル化の進展、価値観の多様化など、社会は大きな転換期を迎えています。そうした中、誰もが身体的・精神的・社会的に良好な状態にある「ウェルビーイング」を実感しながら成長できる教育環境の整備は、これからの教育行政の根幹となる重要な視点です。また、子供たちが安心して学び、自分のよさを発揮し、仲間や地域とのつながりの中で自己肯定感を高め、より良い社会を作るための資質能力を身につけていくことは、持続可能な社会を担う人材育成につながります。

このことを踏まえ、本村教育委員会では、総合教育大綱並びに第6期総合計画に基づき、教育の充実・発展に取り組んでまいります。更別村の豊かな自然と温かい地域社会に支えられた環境のもと「未来を開く力をつけ、ふるさとを愛し夢や希望に挑戦する更別の子供を、地域総がかりで育む」、「村民誰もが生き生きと学び続ける」ことへの実現に向けて教育を充実させてまいります。

1 学校教育の推進

(1) 子供たちの可能性を引き出す教育

現在、学校現場においては、知識・技能の習得にとどまらず、主体的

に学ぶ力、多様な他者と協働する力、情報活用能力の育成が重要視されるようになっていきます。本村では、少人数という教育環境を最大限に生かし、児童生徒一人一人の理解度や特性に応じた指導を行うとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる授業改革を推進します。指導する教員の研修を継続し、ICT機器の効果的な活用を推進することで、学習の可視化や双方向性を高め、「主体的に学び合う授業づくり」を推進してまいります。

また、各学校の全国学力・学習状況調査結果から、児童生徒一人一人の実態を的確に捉え、成果、課題、改善策をまとめた学校改善プランを村での学力向上等サポート会議で交流し、村内での取組を明確化してまいります。

豊かな心を育てる教育の推進として、人間尊重の精神、自他の生命を尊重する心、規範意識や自己肯定感などを育てることが大切です。「特別の教科 道徳」での考え議論する授業を要として、子供たちの主体的学びを取り入れ、学校の教育活動全体を通して豊かな心を育ててまいります。

いじめの根絶に向けては、村、学校の「いじめ防止基本方針」に則りすべての教職員がいじめの定義や組織的な対応などについて一層理解を深め、家庭や地域、関係機関と連携して未然防止、早期発見・早期対応に努めてまいります。またコミュニティ・スクールが開催する「どんぐり村子ども会議」を引き続き実施し、児童生徒の自発的・自治的な活動により、いじめ根絶の取組を徹底してまいります。

健やかな体を育てる教育の推進として、児童生徒の心身の調和がとれ

た発達を図るためには、運動を通じて体力を養うなど、健康的な生活習慣を形成することが大切です。そのため、全国体力・運動能力、運動習慣等調査などにより各学校が把握した児童生徒の実態を村で開催する体力向上等サポート会議で共有し、体育・保健体育の授業改善につなげます。また、家庭や地域と連携した運動習慣・生活習慣の取組が充実するよう努めてまいります。

更に、新たに配置される中学校体育専科教員により、小学校での体育授業を担当する体制をつくります。専門的な体育の指導により小学生の体力向上と小中の一貫した教育活動を推進してまいります。

(2) 地域とともに歩む学校の推進

学校が抱える課題が複雑化、多様化する中、学校だけではなく社会全体で子供の育ちを支えていくことが求められています。そのため、導入から8年目となります「更別村コミュニティ・スクール」とみんなの学校応援団等による「地域学校協働活動」の一体的取組を一層推進してまいります。本年度も配置するコミュニティ・スクールコーディネーターの積極的な活動により「更別の子供を地域総がかりで育てよう」という目標を着実に進め、関わってくださる地域の方々の意欲や活気にもつなげてまいります。

前年度、村研究所では、ふるさと教育を幼稚園から中学校まで系統的にまとめ、「さらべつふるさと学」へ体系化しました。体系化されたことにより、先生が変わっても、ふるさと更別の歴史や文化、産業などを体験的、恒常的に学ぶことができ、ふるさと更別への愛着や誇りをもつ子供を育むことにつながると考えております。更に、地域学校協働活動を

活発にし、「社会に開かれた」教育課程につなげてまいります。

(3) 信頼される学校の推進

幼保小中学校の連携した教育については、幼稚園・保育園から小中学校へと子供の学びを滑らかにつないでいくことが大切になります。そのため、更別村では幼保小及び小学校同士の交流・連携を推進するとともに、小中連携については、中学校体育専科教員を活用し充実を図ります。また、地元の高校生と幼保小中の子供たちとの授業交流を通じて、高校生と子供たちの双方向の学びが深まるよう取り組みます。

小中の連携については、さらに進めて9年間を見通し、学びの系統性連続性を一貫して展開していく小中一貫教育を目指しておりますが、本年度は、教職員の組織である更別村学校教育推進協議会の組織を改編し、小中一貫部を新設いたします。

教職員の資質・能力の向上については、研修の充実と校内研究の活性化を推進し、指導力と専門性の向上に努めます。特に中札内村と共同で設置しております指導主事は、教育課程や学習指導等の学校教育に関する専門的事項の伝達・指導に極めて重要な役割を果たしていることから継続して配置してまいります。また、北海道教育委員会の指導主事等の活用も図ってまいります。

学校における働き方改革については、教職員が児童生徒と向き合う時間や授業準備の時間を確保するため、業務負担の軽減、ICTの効果的活用、意識改革の促進、ホームページへの結果公表をしてまいりました。

更に、教員の優れた人材を確保するため、一層の働き方改革の推進を国から求められており、教育委員会として本年度「業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定し、教員の働きやすさ、働きがい支援してまいります。

(4) 社会の変化や多様な教育ニーズへの対応

特別な支援を要する児童生徒への就学前から学齢期、社会参加まで切れ目のない支援体制を図れるよう関係機関との連携を図ってまいります。また、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うとともに、個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用、引き続き、特別支援教育支援員を適切に配置してまいります。

特に、不登校児童生徒への対応については、一人一人の実情などに応じたきめ細やかで継続的な指導・支援を行う必要があることから、本年度からスクールカウンセラーを常勤で配置し、日常的な相談体制を整備します。また、児童生徒はもとより保護者や教職員が抱える様々な課題の解決に向け、カウンセラーによる相談対応の充実を図ってまいります。

また、スクールカウンセラーを中心に、教育支援センターを設置するとともに、校内に教育支援センター機能を持たせることで、子供たちが安心して過ごし、段階的に学校復帰を目指せる環境を整えます。家庭や関係機関と連携し、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな支援を行ってまいります。

グローバル社会を生きる子供たちの基礎となる外国語教育につきましては、令和3年度より中札内村との共同で加配の専科教員を配置しております。また、NPOからの外国語講師や外国語指導助手を全ての授

業時数において配置し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の育成を図ってまいります。

(5) 安全・安心な教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学習できる環境を整えるため、小学校特別教室へのエアコン設置を進め、学習環境の改善を図ります。また、前年度更新した児童・生徒・教職員の一人一台タブレット端末が稼働します。その他、学校施設整備につきましては、財政状況を踏まえながら必要に応じた改修等整備を進めてまいります。

危機管理については、学校をはじめ関係機関と連携し危機管理マニュアルなどの適宜見直しと、それに基づく校内及び登下校時の安全確保に向けた取組を引き続き徹底してまいります。また、通学路における児童生徒の安全を図るため、更別村生活安全推進協議会や関係機関と連携し、継続的に安全点検や安全対策に努めることと中学生の登下校における自転車乗車時のヘルメット着用の継続を推進してまいります。

(6) 幼児教育の推進

幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であることから、幼稚園・保育園と小学校との円滑な接続を図る「架け橋教育」を重視します。

幼児教育と小学校教育の連携を深め、学びの連続性を確保することで、子供たちが安心して新たな環境へ移行できる体制を整えます。遊びを通じた学びや体験活動を大切に、豊かな感性と主体性の育成に努めます。

(7) 学校給食の充実

更別小学校横に改築されていた学校給食センターが完成し、4月から新センターから給食が提供されることとなります。食物アレルギーを有する児童生徒への対応も強化し、個別の状況に応じた安全な給食提供体制を整えます。今後も安全で衛生的な給食の提供を行い、児童生徒の健やかな成長を支えます。栄養バランスの取れた献立の工夫とともに、栄養教諭も関わり食に関する正しい知識や望ましい食習慣の定着を図り、生涯にわたる健康づくりの基盤を育成します。また、給食提供に当たっては、安全で信頼できる地元産の食材が欠かせないことから、ふるさと給食事業を継続して行います。

近年の食材高騰は給食資材購入にも影響が大きいですが、保護者の皆様の負担を軽減するため、学校給食費無償化事業を引き続き実施してまいります。また、学校給食費の公会計化を継続し、学校現場の負担軽減を図ります。

(8) 更別農業高等学校への支援

更別農業高校生は企業との特産品共同開発や研究の活動成果の発表を通じて、広く村の魅力を発信するなど、本村の活性化のための積極的な活動を展開しています。村内幼稚園、小中学校の教育活動へも多くの協力をいただき、また、地域における奉仕活動や農業クラブ全国大会への52回連続出場や昨年は大阪・関西万博でも食品ロス削減に関わる発表、各種大会でも多くの輝かしい成績を収めるなど、その活動内容は多方面から高い評価を得ております。

しかしながら少子化の影響により生徒の確保が難しい状況が続いており、近い将来、学校の間口減や学校そのものの存続が危ぶまれております。本村にとってなくてはならない更別農業高校の維持・発展に向け、各関係団体等とも連携を図りながら、入学者確保に係る取組や教育振興の支援を引き続き行ってまいります。

(9) 高等学校等入学時の支援、検定受験料の助成

令和5年度から開始した高等学校等に入学した生徒の保護者を対象とした支援金事業ですが、保護者の負担軽減及び生徒の健全な育成を支えるため、本年度も継続してまいります。

また、本年度から児童・生徒の学習意欲の向上及び基礎学力の定着を図ることを目的として、小中学生を対象に、英語・漢字・数学検定の受験料の助成金を交付いたします。各種検定への挑戦を通じて、日常の学習習慣の確立を促し、主体的に学ぶ態度の育成と学力向上につなげてまいります。

2 社会教育の推進

(1) 社会教育に係る学習環境の充実

本村では、生涯学習の基本理念であります「あらゆる機会にあらゆる場所で学習することができるよう、第10次更別村社会教育中期計画に基づき、地域全体で学びを支え合い、世代を超えたつながりを育む生涯学習社会の実現に向け、関係事業を幅広く推進しております。

全ての村民が生涯にわたる学習により、自己の資質・能力を高め、自分らしく豊かな人生を送ることができるよう、ひいては人と地域社会の繋がりをつくり、それぞれの学びを社会活動に活かして地域の課題解決や活性化に繋げることができるよう、各年代や分野に合わせた様々な取り組みを充実・発展させていくことが肝要です。

未来を担う夢をもった子供たちには、自ら考え創造する力を養い、健全な育成に資することを目的に、「こども夢基金」事業、プログラミングやサイエンスなどの体験事業である「さらべつ放課後子ども基地」、感受性や自己実現のきっかけ作りとなる「青少年劇場」を継続し、子供たちの健やかな成長を支援してまいります。

グローバル化が急速に進む現代社会において、異文化と触れ合い、学びを得、広い視野で物事を測り、自主的に行動していくことが極めて大切です。令和5年度から小中学校に配置しました外国語指導助手（ALT）を中心に、各幼稚園での交流活動など各種イベントを継続するとともに、JICA（国際協力機構）との連携事業により、国際感覚へ身近に親しめる環境を構築するため、事業の創意工夫に努めてまいります。

また、中学生を対象とした国際交流事業「飛び出せワールド」では、飛び出せワールド事業推進委員会において十分な協議を行っていただき、令和9年3月に、オーストラリアにおけるホームステイを通じた生活体験、現地の学生との交流プログラムへの参加、歴史・文化・自然等に関する視察研修などを内容とする海外研修を実施いたします。この事業の実施によって、子供たちの国際感覚の醸成、コミュニケーション能力とチャレンジ精神の向上を図ります。

その他、友好姉妹都市であります東松島市との「どんぐり子供交流事業」は本年度更別村を会場に交流することとなっており、子供たちのかけがえのない体験の機会を今後も継続するとともに、事業を通じて両市村の絆を深められる意味のある交流事業にしていまいります。

地域の課題を解決し、発展し続けるためには、責任ある行動のもと、新たな価値を創造し、調整能力に優れた青年層の育成が不可欠です。これからの更別村で中核的役割を担う青年層の育成事業を継続してまいります。

また、人生100年時代、超スマート社会に向けて社会が大きな転換期を迎える中、生涯学習の重要性は益々高まっております。住民一人一人が生涯を通して学ぶことのできるきっかけづくりとして、学習需要や生活課題を掘り起こした社会教育講座を開講し、学習機会の提供を図ってまいります。

高齢者教育では、地域社会や同好の士と活動を共にし、人間関係の形成や交流の場となっている「末広学級」の学級生は減少傾向にあります

が、必要とされる学習のニーズと学習内容のマッチングに努め、時代に即した事業を展開してまいります。

(2) 地域と歩む持続可能な教育の実現

部活動改革につきましては、本村では前年度から部活動改革推進員を任用し、国から示された段階的な地域クラブ活動への展開に向け「更別村部活動改革推進委員会」で協議を進め、部活動の地域展開を模索してまいりました。学校と地域が協力して、子供たちのスポーツ・文化活動に継続的に親しむ機会を確保するため、4月からは、隣の中札内村と連携を組み、まずは合同部活動、部活動の拠点校方式を進めてまいります。そのため、授業日の平日の数日は中札内村までの地域交流バスを運行いたします。夏場は通常の部活動、冬場はレッツトライとして多様なスポーツを体験する活動も入れていく予定となっております。令和8年度は、中学校教員を中心に部活動の形式で進めますが、部活動等の指導を支援してくださる地域の指導者の確保を段階的に進め、地域クラブ活動への更なる基盤づくりに努めてまいります。

(3) 文化・スポーツ活動の振興

文化活動では、文化協会加盟団体、郷土芸能伝承活動団体への支援を継続して行い、活動の持続的発展と活性化を促すとともに、住民が主体的に企画立案、運営による文化振興公演等助成事業の活用について、積極的にPRを図ってまいります。

「総合誌さらべつ」は、6年度から村内の小中学生全員の作品を掲載するなど内容も充実してきており、多くの皆様のご協力により継続して

発刊できておりますことに感謝を申し上げます。様々な視点によりご寄稿いただいている「総合誌さらべつ」は本村の貴重な文化資源として重要な役割を果たしていることから、本年度も発刊へ向け、取り組んでまいります。

改善センター図書室は、購入図書を精選し適正な管理を行い、限られたスペースを有効に活用しながら、様々な年代の方が気軽に図書と触れ合える場や利用者が求める情報の提供に努めます。他図書館との相互貸借制度の活用を継続し、当図書室に蔵書が無くとも利用できる体制を引き続き整えてまいります。また、図書室運営が活性化するように工夫をしてまいります。

更に、子供たちに図書を身近に感じてもらえるよう、上更別小学校や上更別こどもセンターでの移動図書をはじめ、図書室での読み聞かせ事業や図書室まつりなどのイベントを継続実施し、幼少期から本に親しみを持つ機会を設けるなど、住民が気軽に利用できる魅力ある場所となるよう努めます。

北海道指定天然記念物ヤチカンバは、本年度も有識者のご協力を得ながら、引き続き植生再生試験区の追跡調査及び支障植物のモニタリング実施、また、新たな取組として、保護地域内におけるヤチカンバ更新箇所創出を実施し、播種や育てた苗の植栽をするなど、貴重樹種の保護対策を進めてまいります。

スポーツ活動は、心身の健全な発達を促し、体力向上をはじめ、達成感や精神的充足を図ることができるなど大変意義深いものであるため、

各団体の自主的な活動に対して支援を行い、村民誰しものが元気に生き活きた生活を送れるよう、改めて生涯スポーツの振興を推進してまいります。

各社会体育施設につきましては、利用に支障が生じないよう適切な維持管理に努めてまいります。また、令和5年度より柔剣道場、農業者トレーニングセンター、コミュニティプールを指定管理者による管理へ移行しており、引き続き民間のノウハウを活用した施設の有効利用を図り、指定管理者と連携しながら村民の皆様の健康増進機会の拡大に努めてまいります。

令和8年度の教育委員会関係の主な事業としましては、

学校教育関係事業として

- ・ 更別農業高校生徒確保等支援事業及び教育支援事業
(教育振興会助成)
- ・ 指導主事共同設置事業
- ・ 更別村高校生等入学支援事業
- ・ 更別村検定チャレンジ受検助成事業
- ・ 特別支援教育支援員配置事業
- ・ 外国語指導推進事業 (小中学校ALT配置)
- ・ 学校施設改修事業

(更小・上更小特別教室空調設備設置工事、更小体育館玄関土間タイル修繕工事、上更小校舎屋根塗装工事、中央中屋内消火栓ポンプユニット取替工事)

- ・スクールバス購入事業（更南方面バス更新）
- ・学校給食費無償化事業
- ・学校給食配送車購入事業

社会教育関係事業として

- ・こども夢基金助成事業
- ・プログラミング教育事業
- ・どんぐり子供交流事業
- ・ヤチカンバ保存関連事業（植生再生試験追跡調査委託）
- ・文化振興公演等助成事業
- ・国際交流（飛び出せワールド）事業
- ・コミュニティ・スクール推進事業
- ・部活動改革推進事業
- ・農村環境改善センター改修事業（空調設備設置工事）
- ・社会体育施設指定管理業務委託事業
- ・コミュニティプール改修事業（プール照明LED化改修工事）

でございます。

以上、教育行政の基本的な考え方を申し上げまして、村議会議員各位並びに村民の皆様のなお一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針と致します。